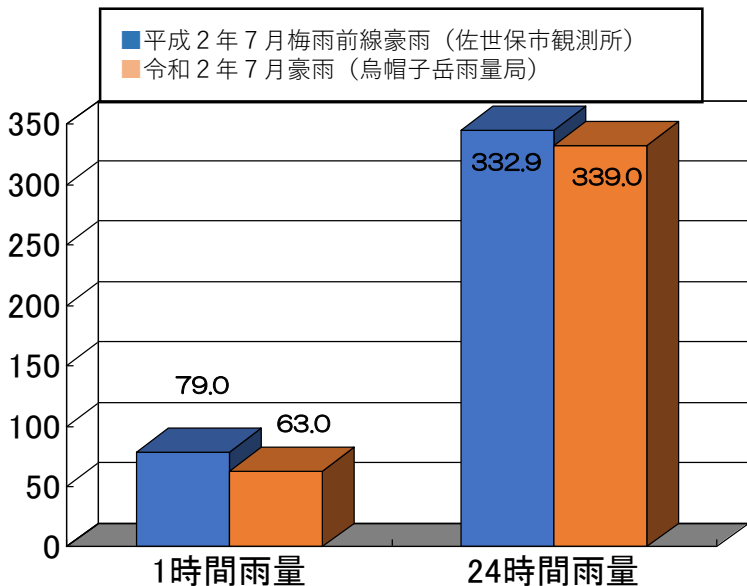


令和2年7月豪雨に関する砂防関係事業の効果

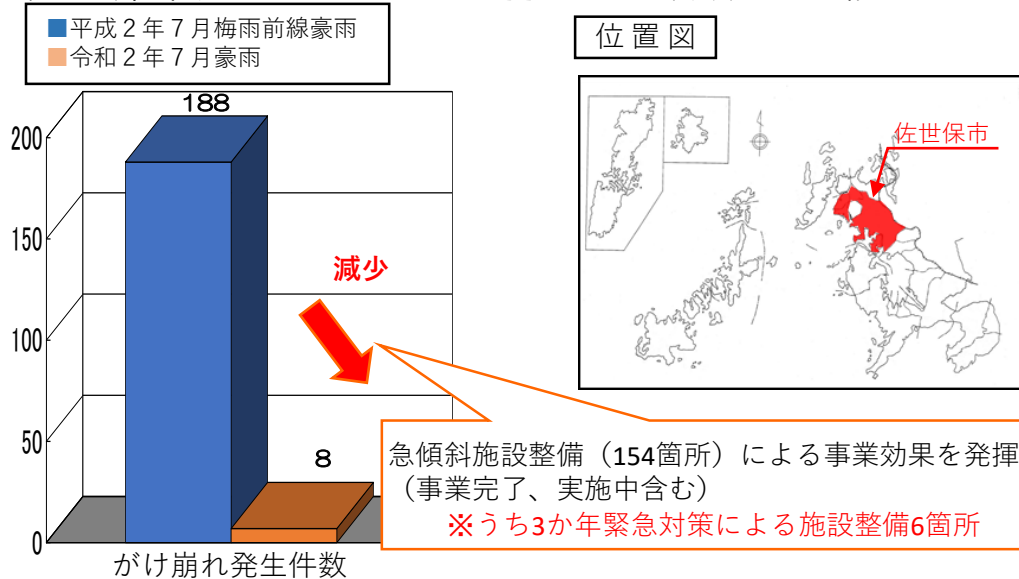
急傾斜施設の整備による事業効果（長崎県佐世保市）

○急傾斜施設の整備を促進してきた結果、長崎県佐世保市では、過去にがけ崩れが多く発生した平成2年7月の梅雨前線豪雨時のがけ崩れ発生件数と令和2年7月豪雨時のがけ崩れの発生件数とを比較すると減少している。

○降水量の比較



○佐世保市内におけるがけ崩れ発生件数の比較

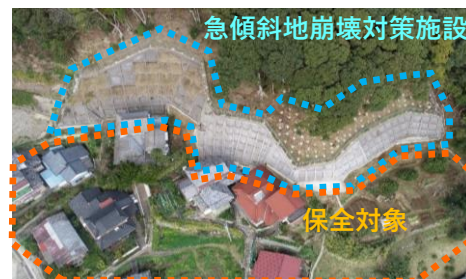


○急傾斜施設の整備状況

	平成2年度末	令和元年度末	増減
急傾斜施設整備済箇所	52箇所	159箇所	107箇所
整備率	6%	17%	11%増

※整備率：対策を必要とする箇所数に対し、施設が設置される箇所数の割合
※平成2年の土砂災害発生件数は、H2.7.4 長崎新聞より引用

○急傾斜施設（3か年緊急対策における施設整備）



急傾斜地崩壊対策施設（佐世保市石坂町）



急傾斜地崩壊対策施設（佐世保市陣の内町）